

# 4x4SVS

## Scorpion 1001

### 取扱説明書 SHIMANO

このたびはシマノスコピオン1001をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
シマノスコピオン1001はダイヤルとSVSのON・OFFで、16段階のブレーキ調整を可能にする4×4SVSを装備したコンパクトサイズのベイトリールです。超々ジュラルミンで軽量化し、33mmの径に設計したスプールは、4×4SVSでコントロールすることで、特に軽いルアーの投げやすさ、飛距離を引き上げました。  
スコピオン1001の性能をフルに引き出し、未永くご愛用いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存して下さるようお願い申し上げます。

#### 株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 北海道営業所 〒001-0034 札幌市北区北34条西10-6-21	TEL.(011)716-3301
株式会社シマノ 仙台営業所 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10	TEL.(022)232-4775
株式会社シマノ 大宮営業所 〒331-0052 埼玉県大宮市三橋2-684-1	TEL.(048)622-3815
株式会社シマノ 東京営業所 〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17	TEL.(03)3744-5656
株式会社シマノ 千葉営業所 〒284-0045 千葉県四街道市美しが丘1-30-11	TEL.(043)433-1780
株式会社シマノ 静岡営業所 〒410-0807 静岡県沼津市錦町674	TEL.(0559)62-3983
株式会社シマノ 名古屋営業所 〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21	TEL.(052)331-8666
株式会社シマノ 大阪営業所 〒660-0085 兵庫県尼崎市元浜町4-85	TEL.(06)6418-4541
株式会社シマノ 岡山営業所 〒700-0941 岡山市青江6-6-18	TEL.(086)264-6100
株式会社シマノ 広島営業所 〒734-0005 広島市南区翠1-11-6	TEL.(082)255-8143
株式会社シマノ 四国営業所 〒768-0014 香川県観音寺市流町1496-1	TEL.(0875)23-2220
株式会社シマノ 九州営業所 〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字岩桜4-6	TEL.(0942)83-1515

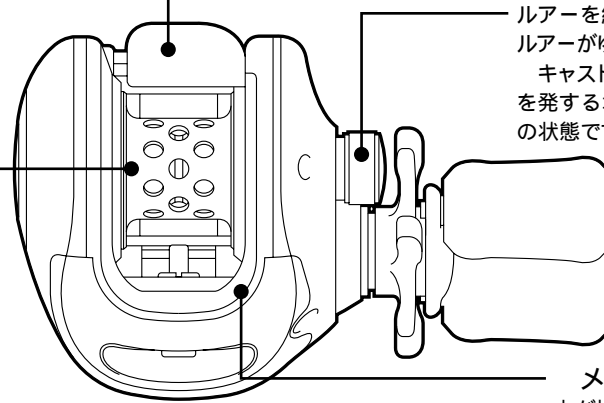
株式会社 **シマノ** 釣具事業部  
本 社：〒590-8577 大阪府堺市老松町3丁77番地  
商品の性能、スペック、カタログ、イベントなどに関するお問い合わせ  
フリーダイヤル ☎ 0120-861130 (ハローイイサオ)  
受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00 (土・日・祝祭日除く)  
釣具サービス課：〒592-8331 大阪府堺市築港新町1-5-15  
商品の修理、パーツなどアフターサービスに関するお問い合わせ  
TEL.(0722)43-2851 / FAX.(0722)43-2860  
シマノホームページアドレスは <http://www.shimano.co.jp> です。  
新製品やタックル検索エンジン、気象情報などシマノならではのオリジナル情報を発信しています。

#### 各部の名称と仕様

**スーパーフリー&ブランキングスプール**  
スプールの滑らか、かつ軽いフリー回転はベイトキャストリールにとって命ともいえるものです。  
**スーパーフリースプール**  
フリースプール時にはベアリング以外、他のものに使ってはいないタッチしません。従来のようにベニオンギヤ内面とスプールシャフト間の摩擦が無いため、きわめて滑らかな回転が実現しました。  
**超々ジュラルミンブランキングスプール**  
超々ジュラルミンの強度を生かしスプールを可能な限り軽量化。慣性力が少なく、遠心力ブレーキともあいまって軽い回転の立ち上がりを実現しています。軽いルアーのキャストやピッチング、ひいては超遠投性能も向上させました。  
慣性力軽減のためスプールのエッジは極限まで薄く設定されていますので、取り外した際の取り扱いには特にご注意ください。



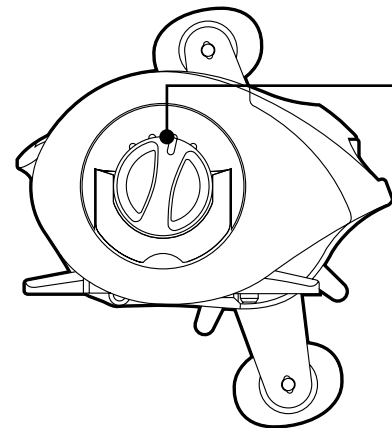
**クイックファイアーII**  
クラッチフリー操作と同時にスプールをサミングできるシステムです。  
ムダな操作がなくなり、チャンスを逃がさずにキャストできます。



**キャストコントロール**  
キャストコントロールはスプールの回転にブレーキをかけるものです。右に回すとスプールのフリー回転にブレーキがかかり、左に回していくと、そのブレーキは弱くなります。一般的な調整は次のように行います。  
リールをロッドにセットして、ガイドに糸を通し、使用するルアーを結びます。ロッドを水平にして、クラッチを切り、ルアーがゆっくり落ちていく程度からスタートしてください。  
キャストコントロールを緩めて投げますと機構上、接触音を発する場合があります。これは故障ではなく、緩めすぎの状態です。

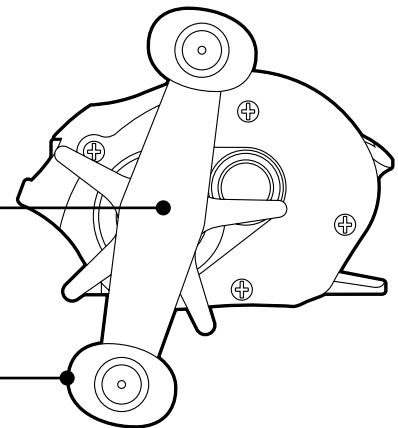
**メタニウム一体成型フレーム**  
力が加わってもヒズミやタワミが出にくい剛性と、リールの回転部分に不可欠な精度を確保するために、メタニウム一体成型フレームを採用しました。

**4×4シマノバリエブルブレーキシステム**  
**4x4SVS**  
従来のSVSで4段階、それぞれにダイヤル操作で4段階の計16段階の調節が可能。状況の変化に応じてすばやくブレーキ力を調節できます。



**アルミコールドフォーミング(冷間鍛造)によるハンドル**  
強度と美しさのためにコールドフォーミングで仕上げました。ハンドル脱着の際には特殊ゆるみ止め加工のビスを新品に交換願います。

**スーパーSTOPPER**  
ハンドルをどの位置で止めてもピタッと逆転が停止します。気になるガタつきもなく、フッキング時のタイムロス、パワーロスを防ぎます。



#### 4×4SVS(可変遠心力ブレーキ)

4×4SVS=4×4 SHIMANO VARIABLE BRAKE SYSTEM (4×4シマノバリエブルブレーキシステム)

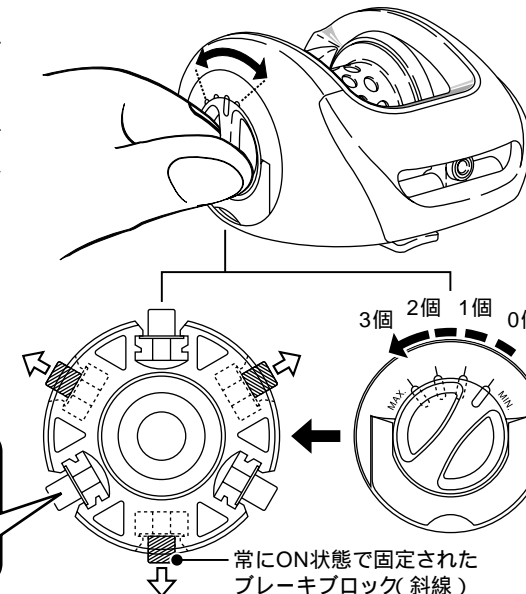
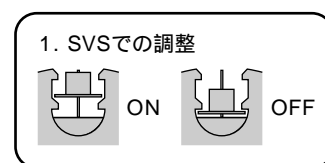
新開発の4×4SVSは、釣場でのスピーディなブレーキ調整が簡単にできます。ルアーのウエイト、空気抵抗、そして風のフォロー、アゲインストなど、さまざまな釣場状況に応じて適正なブレーキ力をかけることが可能となり、バックラッシュを効果的に防ぐとともに、遠投が可能となります。

リール内部に取り付けられたSVSブレーキブロック6個の内、3個を手動で4段階(0～3個)残りの固定された3個をダイヤル操作で4段階(0～3個)ON/OFFすることにより、組み合わせで計16段階のブレーキ力調整が可能なシステムです。  
まずは右サイドプレートを開けて(4×4SVS調整をする時の分解方法の項参照)1.手動による基本調整を行い、あとは2.外側のダイヤル操作で状況の変化に応じてブレーキ調整を行ってください。手動でONにしたブロック数に、プラスするブロック数をダイヤルのMIN.～MAX.(0～3個)で調整することが可能です。

1. SVSでの調整  
下図のように、外側と内側のストッパー間にブレーキブロックを押し上げればONとなり、内側のストッパー下に押し下げればOFFとなり、また外側のストッパーから押し出せば交換が可能となります。  
パーツケースの中にリールに組み込まれている大きさと同じブレーキブロック(クリア)と、ひと回り大きいブレーキブロック(グレー)をそれぞれ3個、スペアパーツとして付属させています。大きさの異なるブロックの組み合わせを、スプールにセットすると、より微妙な調整が可能になります。もちろん、ONの数が多いほどブレーキ力は強くなります。  
お買い求めのダイヤルに糸を巻き、このリールで初めてキャストするとき、3個のブレーキブロックをすべてONにされることをおすすめします。その後ONのブロック数を調整してください。

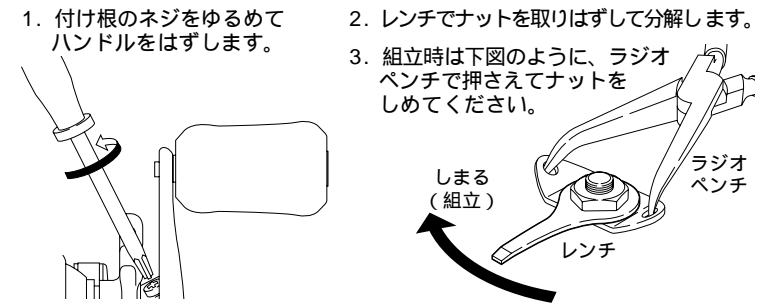
ブレーキブロックは4×4SVS専用ブレーキブロックをご使用ください。

ブレーキブロック詳細	
クリア	グレー
Mサイズ	Lサイズ
ブレーキ力 小	ブレーキ力 大



2. ダイヤルでの調整  
右図のようにダイヤルを矢印の方向に回すことで、内部のリングが段階的に移動し、斜線部で表示された常にON状態のブレーキブロックに触れていきます。これによりブレーキ力が強くなります。反対に回すと弱くなります。  
ダイヤルは4カ所のくぼみに合わせた位置で止めてください。中間で止めないようお願いします。ダイヤルで調整するブレーキブロック(斜線)の交換はできません。

#### ハンドル部分の分解、組立方法

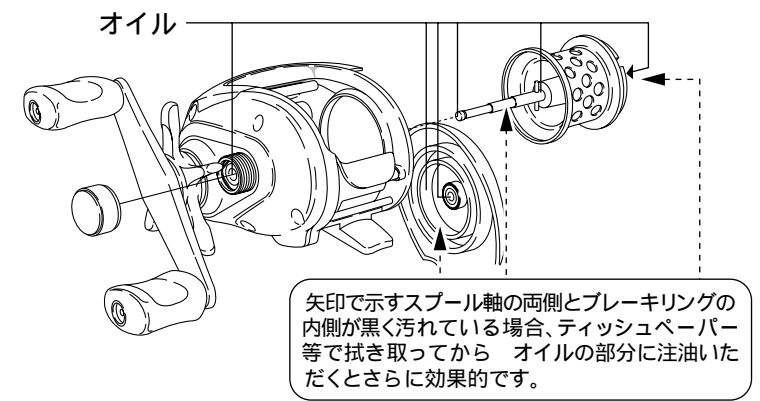


1. 付け根のネジをゆるめてハンドルをはずします。  
2. レンチでナットを取りはずして分解します。  
3. 組立時は下図のように、ラジオペンチで押さえてナットをしめてください。

#### 注油についてのご注意

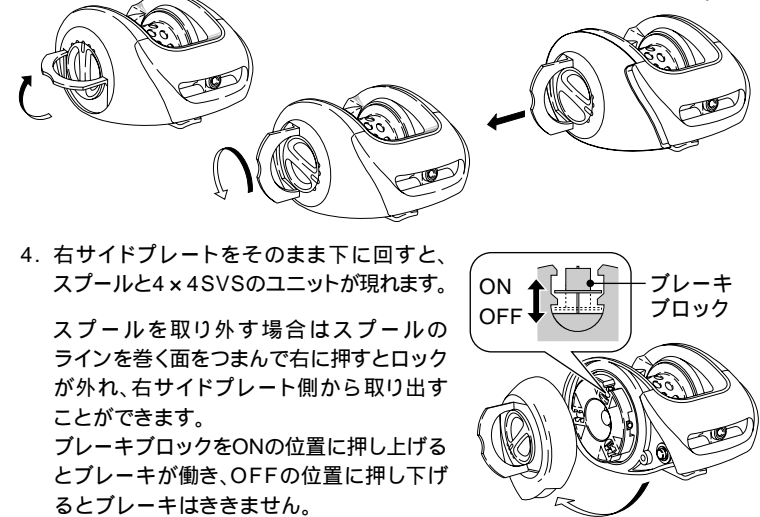
スコピオン1001では軽いスプール回転を得るために、スプールを受ける2個のベアリングに、通常のグリス入りではなく、特別なオイルを使用した、低トルク、高回転タイプのベアリングを採用しています。スコピオン1001の優れた性能を長く維持するために、図の印の箇所には、リールに付属の専用オイルを注油してください。(市販のオイルは使用しないでください。スペアは部品注文で¥300で補充いただけます。)

スプールは回転バランスが要求される精密部品です。取り外したスプールの軸、エッジを曲げないようにご注意ください。



#### 4×4SVS調整をする時の分解方法

- 右サイドブレーキレバーを起します。
- 反時計方向に完全にゆるむまで回します。
- 右サイドプレート全体を支点を軸にスライドさせて開きます。

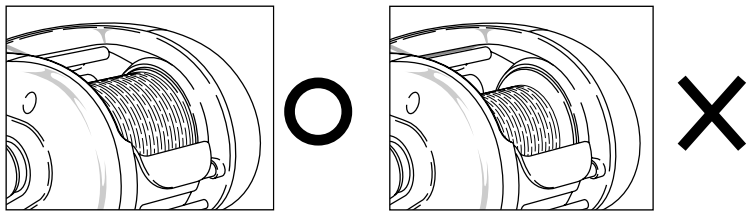


#### スコピオン1001の取り扱いの注意

**注意!!** 淡水を前提とした設計のため、一部海水に向かない部品を使用しています。海でのご使用はご遠慮ねがいます。

## 投げる前の準備

糸はスプールの90%程度に巻きます。  
多すぎても少なすぎても良くありません。



ルアーをセットしてブレーキ力を調整します。

(ルアーは空気抵抗が少なくウェイトのある15~18g程度のバイブレーションプラグが適しています。)

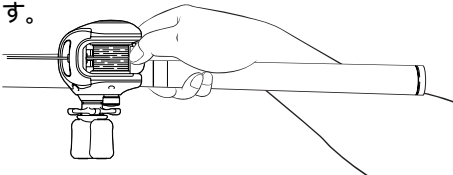
- ・キャストコントロールの一般的な調整は次のように行ないます。リールをロッドにセットしてガイドに糸を通し、使用するルアーを結びます。ロッドを水平にして、クラッチを切り、竿を振るとルアーがゆっくり落ちていく程度にブレーキを調整します。
- ・初めは4×4S V Sの可変遠心力ブレーキを全てONにして最大にします。(キャストिंगになれるにしたがって弱くしていきます。)

投げる前に周りに人がいないかを十分に注意します。

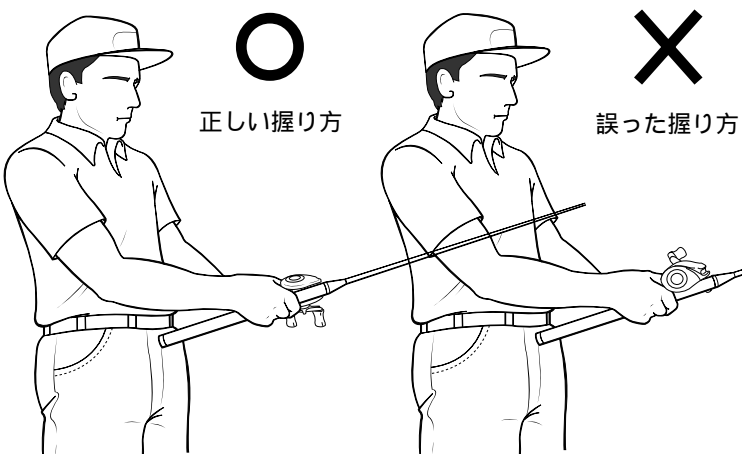
## 投げる時のつかみ方

(ここからは、右利きの人が左ハンドルタイプのリールを使用するものとします。)

ピッチングの場合  
バットエンドを肘の内側にくるようにして、ハンドルは下向きにアンダーハンドで竿を振ります。



オーバーヘッドキャストの場合



オーバーヘッドキャストの竿の握り方は手首のスナップが十分に使えるようにハンドルが下向きになるように握ります。

ハンドルが横向きになるように握って、竿を振るとスナップがききません。

## ピッチング

比較的近距離にあるストラクチャーに対して静かに正確にルアーをプレゼンテーションさせる方法がピッチングです。

ルアーは左手に持ち、竿を上には振り上げます。  
ルアーを水面と平行にキャストするようにします。

ルアーが着水したら、スプールを押さえて回転を止めます。(サミングします。)

## 仕様

機種名	製品コード	ギヤ比	標準自重	最大ドラグ力	ベアリング(ボール/ローラ)	糸巻量(号・m)
SCORPION 1001	RH 432000	6.2	230g	4.0kg	4/1	3-100 3.5-90 4-80 5-65

糸の標準直径(m/m)  
3号- 0.285 3.5号- 0.310 4号- 0.330 5号- 0.370  
製品改良のため、仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。  
淡水を前提とした設計のため、海でのご使用はご遠慮ながいいます。

## リールのお取り扱いの注意

本リールは精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。

ご使用上の注意  
このリールは淡水での用途を前提として設計されています。海水には向かない部品も使用しておりますので、海水・塩水の場所での使用はご遠慮ながいいます。砂・泥・海水はリールの天敵です。ご使用中、リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や海水が入ると、思わぬトラブルの原因となることがあります。根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。

リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

お手入れの方法  
各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させてください。

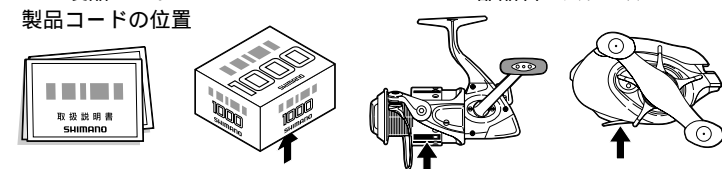
また、水をかけたり、水に浸して洗ったりしないでください。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。ドラグ部分には、絶対にオイルを付けないでください。

オイルが入ると、ドラグ力が低下することがあります。高温・高湿の状態では長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記のお手入れを実施後、風通しの良い場所で保管するようにしてください。ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようご注意ください。

リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。お手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様のお電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

修理に出される際には、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に(例/ストッパーが働かない)お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所・本社または釣具サービス課へお問い合わせください。修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは、分解図をご覧ください。商品名・製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。(内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。)

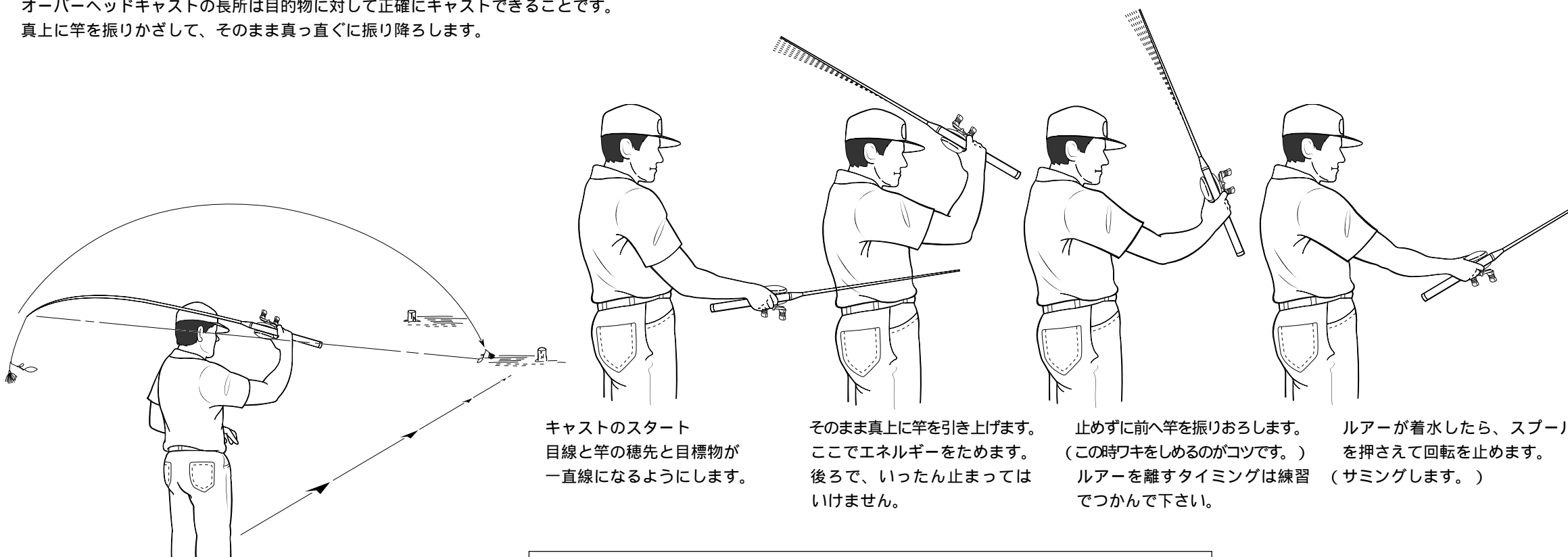
例/製品名: ステラ1000 部品番号: 2  
製品コード: SC66B010 部品名: スプール



取扱説明書・分解図・パッケージ底面部・製品(コードの上5ケタを表示しています。)

## オーバーヘッドキャスト

オーバーヘッドキャストの長所は目的物に対して正確にキャストできることです。真上に竿を振りかざして、そのまま真っ直ぐに振り降ろします。



キャストのスタート  
目線と竿の穂先と目標物が一直線になるようにします。

そのまま真上に竿を引き上げます。ここでエネルギーをためます。後ろで、いったん止まってはいけません。

止めずに前へ竿を振りおろします。(この時フキをしめるのがコツです。) ルアーを離すタイミングは練習でつかんで下さい。

ルアーが着水したら、スプールを押さえて回転を止めます。(サミングします。)

不幸にしてバックラッシュしてしまったら...  
バックラッシュをほごうとして、すぐにラインを引っ張るとかえってほごけません。まずバックラッシュしたまま、スプールを親指で押さえた状態で、ハンドルを回して糸を少し巻いてください。その後、クラッチを切って糸を出すと、ほごきやすくなります。

## 安全上の注意

ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 注意	
	糸をリードするレベルウィンドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをするおそれがあります。ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。
	ストッパーをOFFにして釣っているとハンドル等が回転し、手に当たりけがをするおそれがあります。糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。
	回転しているスプールには触れないでください。けがをするおそれがあります。